

## 概要版

# 第2次安芸高田市観光振興計画

平成 27 年度 ▶ 平成 31 年度

### 観光振興計画とは？

本市ではこれまで、安芸高田市観光振興計画に基づき、観光振興施策を推進してきましたが、近年の社会情勢や観光動向、観光形態の変化に伴い、観光客の求めるものも大きく変化しており、より地域性の高い、独自の魅力的な観光施策が必要となっています。

そのような近年の状況を受け、観光が持つ可能性や魅力を活用することで、観光客数の増加により「にぎわい」を生み出し、産業創出や観光消費額の増大による地域経済の活性化を重要な目的と位置づけ、第2次安芸高田市観光振興計画を策定しました。



安芸高田市マスコットキャラクター  
たかたん

# 安芸高田市観光における将来ビジョン

平成27年3月に策定した『第2次安芸高田市総合計画』で掲げた将来像と同様に、この計画においても本市の目指す姿は次のとおりです。

●●目指す姿●●

## 人がつながる田園都市 安芸高田

この計画では、本市の誇る観光資源を活かしながら、市民が一体となって地域を盛り上げていき、観光客と地域の人をつなぎ、それを本市の活力に変えていくことが重要です。



観光客を迎え入れる市民と、本市を訪れる（可能性のある）人それぞれに向けたキャッチフレーズを設定します。



●●市内向けのキャッチコピー●●

### 百万一心！ みんなで育むおもてなしの心

毛利元就の遺訓「百万一心」は、「皆で力を合わせれば、何事もなしうる」という意味を表しています。安芸高田市民には広く知られている「百万一心」の精神を中心に据え、観光に関係している人だけではなく、市民一人ひとりがイメージし、担っていくための機運を醸成していきます。

●●市外向けのキャッチコピー●●

### あ～きたかった 安芸高田 ～神楽舞う 田舎料理と毛利の郷～

安芸高田市の全国的な認知度は低く、市の名前を聞いたことが無い方も多いのが現状です。このような状況を踏まえ、「安芸高田市（あきたかたし）」という「音」と「文字」を同時に伝え、安芸高田市の魅力をイメージでき、来訪につながるようなキャッチコピーを設定しました。

# 目標と重点活用資源

## 目標指標の設定

| 目標指標            | 現状値（H25）   | 目標値（H31）     |
|-----------------|------------|--------------|
| ➡ 総観光客数（年間）     | 1,386千人／年  | ➡ 1,700千人／年  |
| ➡ 観光消費額（年計）     | 1,610百万円／年 | ➡ 2,300百万円／年 |
| ➡ 神楽定期公演集客数（年計） | 32,275人／年  | ➡ 37,000人／年  |

## 重点活用資源

本市の特徴ともいえる次の4つの資源に関する観光振興を重点的に推進します。

### （１）毛利元就

一代で中国地方をほぼ平定し、“戦国最高の智将”や“謀神”ともいわれる毛利元就は、日本100名城に登録されている郡山城を本拠地として、本市で生涯を過ごしました。“三矢の訓”や“百万一心”などでも有名です。

### （２）神楽

全国に様々ある神楽の中でも、「ひろしま安芸高田神楽」はスピード感あふれるパフォーマンスと豪華絢爛な衣装、明快なストーリー性が魅力です。全国でも珍しい神楽専用施設“神楽ドーム”を有する神楽門前湯治村や神楽甲子園、神楽グランプリなど特徴的な取組が多数あります。

### （３）農産物

青ネギ、もち米、酒米などの生産量が広島県で最も多い肥沃な土地であり、その他にも様々な農産物を生産しています。

### （４）自然

土師ダムの桜や湧永満之記念庭園のばらといった本市にしかないすばらしい自然資源を筆頭に温泉、キャンプ、フルーツ狩りなど、広島市中心部から1時間で体験できる豊かな自然環境があります。

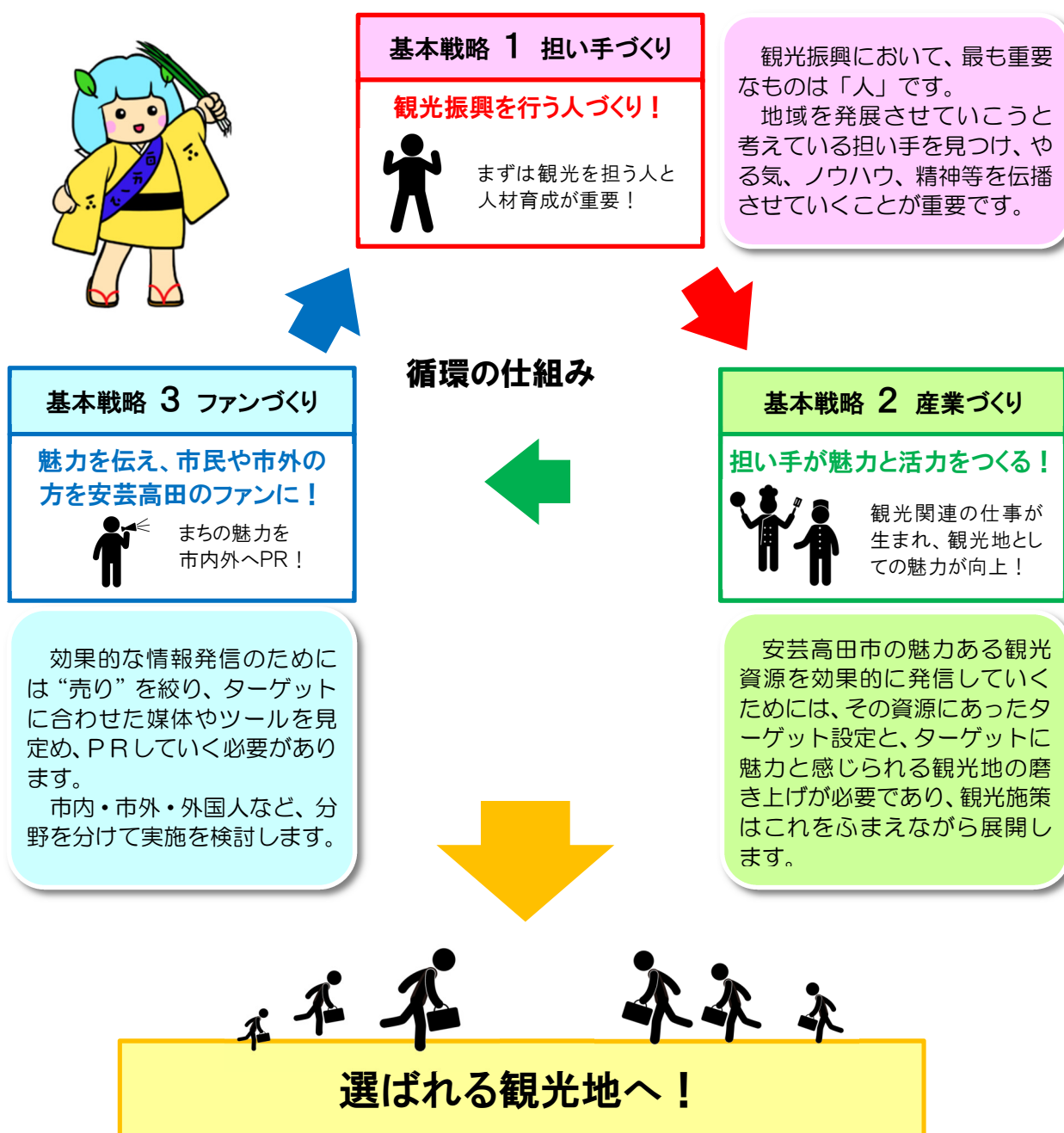


# 基本戦略

本計画では、「担い手づくり」、「産業づくり」、「ファンづくり」の3つの基本戦略に基づき、行政、観光関係団体、市民が一体となって計画を推進していきます。

また、これら3つの基本戦略が連携していくための、「仕組み」を整えることで、持続性と実効性の高い施策の展開になると考えます。

## ■3つの基本戦略と循環の仕組み



# ターゲットの設定

「基本戦略」にもあるように、明確なターゲットを定めて、しなければいけません。本計画では安芸高田市観光のメインターゲットおよびサブターゲットを定め、そのターゲットが“興味を持つ魅力”を“響く表現”でPRする観光資源を次のように定めます。



## メインターゲット

### 県内 ファミリー

#### 【ターゲットの狙い】

- ① 広島県内、特に広島市からのアクセスの利便性が高い  
“アクセスの良さ＝移動時間の短さ”に
- ② より小さな子連れファミリーでも気軽に来訪できる(疲れない)
- ③ ファミリー志向の観光には子どもや祖父母など、同時複数の来訪が期待できる
- ④ 近年の観光動向ではニューツーリズムと呼ばれる体験型観光が人気

### 首都圏、関西圏 シニア

#### 【ターゲットの狙い】

- 団塊世代の高齢化により、時間とお金のある高齢者数の増加
- ① 特に人口の多い首都圏、関西圏ではターゲットの母数が多い  
厳島神社、原爆ドーム、石見銀山といった近隣の世界遺産の中心に位置し、アクセス利便性が高い
  - ② 首都圏、関西圏での継続的な神楽公演により、鑑賞客の印象付けや誘致が比較的容易である
  - ③ 神楽の定期公演をしており、予約なしの着地型観光として気軽に来訪できる



## サブターゲット

### 【志向・旅のテーマが明確な観光客】

#### 1. 歴史好き⇒郡山城を中心とした歴史、神楽、ご当地グルメなど

戦国時代の代表的な武将である毛利元就を中心とした歴史や、全国に伝わる神楽の中でも特にエンターテインメント性の高い「ひろしま安芸高田神楽」を歴史(文化)に興味を持つターゲットに向けて発信する。

#### 2. 外国人(主に欧米)⇒日本文化(神楽・湯治村など)

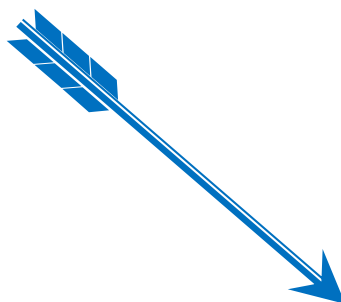
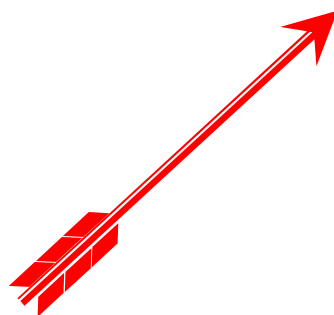
外国人観光客は国、県ともに急増しており、2兆円を超える市場の中で、**本市の持つ特有の“人権多文化共生推進課”などとも連携しながら**、各国の文化に合った観光事業の提供体制を確立する。



## 計画の体系

目指す姿(第2次安芸高田市総合計画より)

人がつながる田園都市 安芸高田



担い手づくり  
基本戦略1

産業づくり  
基本戦略2

ファンづくり  
基本戦略3

## <具体的施策>

## <具体的事業>

### (1) おもてなしの心の醸成

- ① おもてなしの心の醸成
- ② 観光人材の育成
- ③ ガイド協会会員の養成

### (2) 実行組織の構築

- ① 観光関連団体の育成・連携強化事業
- ② 外国人観光客の受入態勢の充実
- ③ 安芸高田版(日本版)DMOの設立による、持続的な経済循環 **【重点】**
- ④ 民泊による受入体制の整備

### (3) 広域連携体制の構築

- ① 周辺地域との連携体制強化
- ② ふるさと応援の会連携事業

### (1) 雇用の創出

- ① 神楽を活用した特産品開発 **【重点】**

### (2) 資源を活かした観光地づくり

- ① 神楽を活用した観光地づくり **【重点】**
- ② 豊かな自然を活用したアクティビティの推進 **【重点】**
- ③ スポーツ観光を活用した観光振興
- ④ 外国人観光客に向けた神楽鑑賞ツアー
- ⑤ 小規模観光農園や古寺等を活用した体験型観光 **【重点】**
- ⑥ アートとものづくりの地域振興
- ⑦ 宿泊施設の平日利用の促進

### (3) 安芸高田ブランドの構築

- ① 神楽五色麺の充実
- ② 安芸高田市独自の食ブランドの充実 **【重点】**
- ③ ジビエの活用
- ④ たかたんを利活用したPR

### (4) 観光ルートの設定

- ① 施設間連携による市内周遊の仕組みの創出
- ② 団体旅行向け観光プロモーション
- ③ 毛利元就などの歴史や文化等を活用した観光振興 **【重点】**
- ④ 広域周遊ルートの構築
- ⑤ サイクリストの拠点事業
- ⑥ モニターツアーの実施

### (5) 景観整美・環境整備

- ① 観光客を迎えるための美しい景観づくり
- ② Wi-Fi 環境整備事業

### (1) インナープロモーション

- ① 市民による市内観光のススメ **【重点】**

### (2) 都市圏を中心とした市外プロモーション

- ① 広島市での定期的な PR イベントの実施
- ② 大都市プロモーションの実施
- ③ 自動車客に向けた道の駅や SA における PR
- ④ SNS を活用した情報発信

### (3) 外国人観光客に向けたプロモーション

- ① 広島市内ゲストハウスでの PR
- ② 広島駅や県内主要観光地での PR

### (4) ツール(接点)づくり

- ① 広島市でのアンテナ・レストランの展開
- ② ビジュアルコンテンツを活用した PR

## 計画の推進体制

本計画で掲げた施策は、市全体の観光振興・地域活性化につなげるため、施策毎に挙げた各実施主体や民間業者・市民が役割を分担しつつ、連携を取り合って、自主的・積極的に取り組んでいくものです。

そこで、本市の観光振興に関する役割を以下に整理します。

### 行政

- 本計画に基づいた戦略的な施策の推進
- 市全域の情報発信
- 市の広報媒体を通じた情報発信
- 市場調査などに基づいた現状分析
- 県や自治体間連携による体制づくり 等

### 公共団体

- 観光従事者の育成・研修など
- 観光メニューの造成・充実
- 団体同士の連携強化 等

### 民間事業者

- 行政等や公共団体と連携した取組の実施
- 観光メニューの造成・充実
- 質の高いサービスの提供 等

### 市民

- 観光地としての認識
- 市内観光の活性化
- おもてなし活動
- 観光ボランティア等への参画 等

魅力満開の安芸高田市を  
みんなでつくっていきたく  
イイね！



### 第2次安芸高田市観光振興計画（概要版）

編集・発行：安芸高田市（産業振興部商工観光課）

〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田 791 番地

TEL: 0826-47-4024 FAX: 0826-42-1003